

三心を磨く

学校だより No. 2

令和3年5月17日(月)発行

須坂市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)


<http://www.azuma-school.ed.jp/>

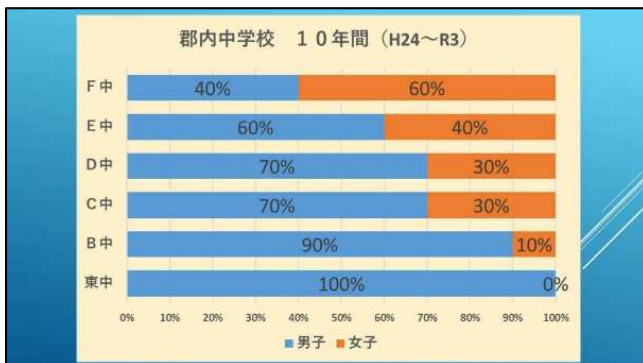
5月の校長講話より ～東中の○○○○○○○に女子は1人もいない

5月の校長講話は、今年度よりスタートした GIGA スクール構想の1人1台端末(タブレット型 PC)を活用した実践として「Google classroom を活用したオンライン対話型」で行いました。生徒に問いかけながら Google フォームにて、その場で、生徒の考えや感想を取り入れ、話を進めていきました。

2つのグラフは何を表していると思いますか

おはようございます。今日は、SDGs に関わる身近な問題について皆さんと考えたいと思います。

 **SDGs 持続可能な開発目標**
2015年9月に国連で合意 2030年までに達成すべき世界共通の17項目の目標



このグラフは、ある事柄について、須高地区6中学校の、今年も含めた過去10年間の男女の割合を表しています。

一番下の東中は、男子が100%です。B中学校は男子90%、女子10%。C中学校とD中学校は、男子が70%で女子が30%。E中学校は60%と40%。F中学校は、男子40%、女子60%です。



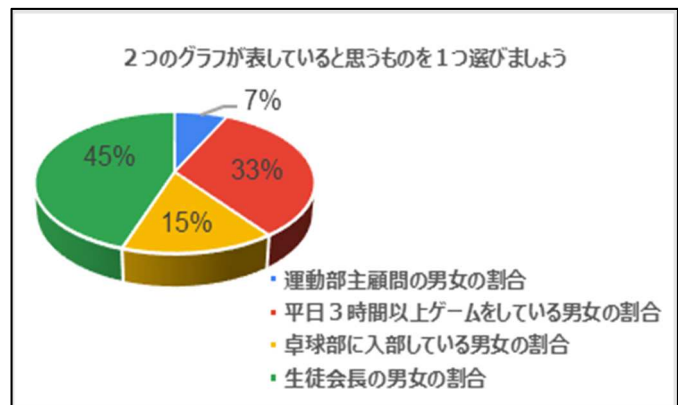
もう一つグラフを見てください。先ほどのグラフと同じ事柄について、長野県の中学校全体で、この5年間、男女の割合がどう変化してきたかのグラフです。5年前の平成28年度は、男子が80%、女子が20%でしたが、翌年には、女子が25%に増え、この3年間は、男子70%、女子30%が続いています。



Google フォームによるアンケート実施

それでは皆さんに質問です。「2つのグラフは何を表していると思いますか？」 Google Classroom にアンケートを投稿しましたので、Google フォームで回答して送信しましょう。

みなさんの予想では「運動部主顧問の男女の割合」が「7%」、「平日3時間以上ゲームをしている男女の割合」が「33%」、「卓球部に入部している男女の割合」が「15%」、「生徒会長の男女の割合」が「45%」と「生徒会長の男女の割合」が一番多いですね。正解は、後で発表します。



これは、去年の10月の校長講話で使った写真です。2・3年生は覚えていますね。

左側のEUの人たちと右側の日本の人たちの特徴を考えました。

日本側は、「男性ばかり」「年齢層高い」EU側は、「女性が多い」「若い人も」いろいろな特徴が挙げられましたが、多かったのはこの4つの特徴でした。

そして、前回3月の校長講話では、SDGsの視点から、この写真は「ジェンダー平等を実現しよう」に関わる写真だと確認しました。



ジェンダーってなに

「女の子だから～」「男の子だから～」と言われたことはありませんか？

ここで、ジェンダーについて理解を深めましょう。「女だから、男だから」と言われたり思ったりした経験は誰しもあると思います。男女の違い、これを「性差」といいますが、大きく2つあります。

1つは体のつくりの違い。2つ目が社会的・文化的な役割の違いです。

この社会的・文化的な役割の違いについては、小さい頃からすり込まれて、無意識のうちに「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」という性差へのイメージを持つようになります。これを**ジェンダー**と言います。

男女の違い（性差）

- ①体のつくりの違い
- ②**社会的・文化的な役割の違い**
⇒ 「男性（女性）はこうあるべき」

みんなが**無意識に持っている（すりこまれている）性差**へのイメージ

⇒ これを**ジェンダー**と言います

【例】「外で働くのは男性で、家のことをするのは女性」
「男性は青、女性はピンク」

どんな人物を思い浮かべますか？

では、1枚の写真と説明を見てみましょう。どんな人物を思い浮かべますか。

交通機動隊の白バイ隊員の巡査長。特別機動取締係に勤務。白バイを駆使し、悪質な交通違反者の検挙に尽力。

さて、どんな人物を思い浮かべましたか。



交通機動隊の白バイ隊員 巡査長

福岡県警察本部交通機動隊特別機動取締係に勤務。機動力のある白バイを駆使し、悪質な交通違反者の検挙に尽力。



福岡県警察本部交通機動隊
特別機動取締係 巡査長
高橋祥子さん

では、その人の写真を見てみましょう。**高橋祥子**（たかはし しょうこ）さんという女性です。

とっさに、または何のためらいもなく「男性の警察官」を想像した人はいませんか？最初の写真と説明で、とっさに男性の警察官を思い浮かべた人は、「交通機動隊・白バイ＝イコール男性」という無意識の思い込み・先入観が働いたのだと思います。

その反応こそが「アンコンシャス・バイアス」と呼ばれる「無意識の思い込み・先入観」です。性別による固定的な役割分担意識は、ジェンダー平等の実現をはばむ社会課題となっています。

引用：福岡県女性の活躍ポータルサイト

https://joseikatsuyakuontai.pref.fukuoka.jp/unconscious_bias/

日本の総合順位は 153 カ国中



今年の3月に、世界 153 カ国を対象に、男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」が発表されました。

日本は、総合順位が 153 カ国中 120 位でした。もともとなる政治・経済・教育・健康の分野別に見ても、男女格差は大変厳しい状況です。先ほどの写真の日本側と EU 側の違いにも現れています。

さて、お待たせしました。最初の課題「2つのグラフは何を表していると思いますか？」の正解です。正解は、「**生徒会長の男女の割合**」でした。

あなたは、この事実についてどう思いますか

東中はこの 10 年間生徒会長は全て男子でした。そこで、あずま山岳で 60 年前までさかのぼって調べてみました。その結果です。

それでは、最後の課題です。「**東中の歴代生徒会長に女子は 1 人もいない**」というこの事実について、あなたはどう思いますか。問 2 の課題を Google Classroom に投稿しました。フォームにあなたが思うことを書いて送信してください。必要なら、周りの人と意見交換をしてもかまいません。それではどうぞ。



まだ一生懸命考えている人も沢山いると思いますが、1 時間目の授業に遅れないために、講話はここまでとします。まだ送信してない人は、休み時間などを使って、後で送信してください。できるだけ今日中をお願いします。後日、皆さんの考えを共有できる機会を取りたいと思います。今日は、身近な問題から SDG s のジェンダー平等について考えました。おわります。

